

市泉区明通3丁目	022(373)6000	FAX 022(373)6015
城市中央3丁目	022(361)5180	FAX 022(361)5181
市北浜1丁目	022(367)1331	FAX 022(367)1507
市迫町北方大洞	0220(21)0035	FAX 0220(21)0036
市迫町佐沼	0220(22)3172	FAX 0220(22)3440
市若柳川南南大通	0228(32)5371	FAX 0228(32)2848
市築館薬師	0228(22)3163	FAX 0228(22)1679

小牛田	美里町牛飼清水江	0229(33)2204	FAX 0229(33)3301
加美	加美町北町	0229(63)2115	FAX 0229(63)3597
岩沼	岩沼市桑原2丁目	0223(22)2215	FAX 0223(22)2792
大河原	大河原町幸町	0224(52)1173	FAX 0224(52)1182
白石	白石市鷹巣東4丁目	0224(25)2201	FAX 0224(25)2516
角田	角田市角田中島上	0224(62)1568	FAX 0224(62)0707
亘理	亘理町新町	0223(32)8681	FAX 0223(32)8682

読者相談室
月一金9:30~17:30
022(211)1447

配達問い合わせ
022(211)1302

魚の安全シールでアピール

石巻市の石巻魚市場は独自の放射性物質検査で基準値(1錠当たり100Bq)を下回った魚に付ける「検査済証」シールを作り、30日から買い受け人に配布する。流通業者や消費者に安全性をア

石巻魚市場

シールは直径3センチで「放射能販売前サンプル検査済証」と記した。定器で水揚げされた魚の希望する買い受け人に1サンプル検査を実施。9000枚ずつ渡し、出荷月中旬には、より精度のする発泡スチロールなどに高いゲルマニウム半導体に添付してもらう。出荷検出器を導入し、検査データを確認できるように識別を強化する。

独自に放射能を測定「検査済証」作製

防災無線聞きやすく

地形やスピーカーカーの配置…

音の届き方調査

東北大

災害時に防災行政無線を有効活用するため、東北大電気通信研究所(仙台市)の共同研究チームが29日、若林区荒浜で屋外拡声システムの実験を行った。音声为重ならないスピーカーカーの配置方法や、聞き取りやすい言葉の選び方などの研究を重ね、本年度中に指針を示す。

この日は重機で15メートルの高さに持ち上げたスピーカーカー2台を200メートル離して設置し、音声を流した。研究チームのメンバーが複数箇所から聞こえた言葉を書き留め、音の重なりや聞き取りにくい言葉がないかどうかなどを確かめた。

研究は、総務省の委託でことし3月に始まった。地形によって異なる音の伝わり方を調べるため、平地が広がる荒浜のほか、東松島市の山あいや石巻市の市街地で実験を続けている。言葉だけでなく、音を聞いただけで直感的に避難誘導できるような「サイン音」の開発も目指している。

東日本大震災では、防

災無線から流れる津波警報が聞き取りづらかったとの確立は世界的にも例のない研究。住民の命を守るため、今までの研究を役立てたい」と話した。

鈴木陽一教授(音情報)。



スピーカーから聞こえた言葉を書き取る共同研究チームのメンバー